

和歌山

地域面 3 ページ

和歌山支局

〒640-8154 和歌山市六番丁5
 和歌山第一生命ビル4階
 TEL 073(431)1411
 FAX 073(433)0650
 wakayama@mainichi.co.jp

【通信機関】

橋本	0736(32)0063	新宮	0735(28)1751
海南	073(482)0675	御坊	0738(22)2511
湯浅	0737(62)2870	田辺	0739(26)1026

【広告問い合わせ】 073(423)9291
 【購読問い合わせ】 0120-468012



湯川王子社（田辺市中辺路町）にて

裔、湯川一也さんの世話で執り行われていた。約30分の式典は僧のホラ貝で終了。例年ならその場で直会となるが、雨天のため、311号沿いにある野中の上地集会所で開かれた。

傍らには、現皇太子殿下行啓の記念碑、湯川氏発祥の地の碑、湯川氏のお墓の看板。川向うには石垣が見え、

秀樹。大阪で開業した

秀樹博士は旧姓小川

住みつき、若様として

（次回は2月11日掲載予定）

まつりに血族の結束学ぶ

あつた。上地集会所の直会は、すでに餅がまかれ、子供たちに菓子袋が配られていた。私たちは里芋がたくさん入った豚汁をいただき、濡れた体が温まったところで、正彦さんの孫で世話人の一也さんに湯川田家の一族である。1301(正安3)年、忠長24歳のとき道湯川に

湯川胃腸病院の湯川玄西牟婁郡の芳養に館をがうかがえる。案内板には、1109年から1210年ごろにかけて上皇、女院、貴族などの熊野詣での宿泊、休憩所になり、村あげて接待をしたとある。道湯川村はにぎわったのである。

しかし、時代とともに熊野詣でが少なくなり、1964(昭和39)年に廃村。最後の住人が湯川正彦さん一家で

湯川王子社を訪ねた。311号から168号に出て北上。西に折れて発心門王子から林道に入り、熊野古道の三越峠に着く。あいにくの小雨の中、高低差約180メートルの湯川王子に向かい、約800メートルの昨午11月23日、湯川王子社を訪ねた。

311号から168号に出て北上。西に折れて発心門王子から林道に入り、熊野古道の三越峠に着く。あいにくの小雨の中、高低差約180メートルの湯川王子に向かい、約800メートルの昨午11月23日、湯川王子社を訪ねた。

311号から168号に出て北上。西に折れて発心門王子から林道に入り、熊野古道の三越峠に着く。あいにくの小雨の中、高低差約180メートルの湯川王子に向かい、約800メートルの昨午11月23日、湯川王子社を訪ねた。

熊野古道

みづからくまの記

30

田辺市中辺路町の国道311号北側に位置する湯川王子は、湯川一族のルーツであると

湯川王子社(田辺市中辺路町)

絵と文・熱田親憲 題字・熱田秦華